

「中国」強から「アセアン」へ

海外進出専門ポータルサイト

Digima~出島~

月間相談件数200件に上る海外進出専門ポータルサイト「Digima」が、2012年の海外進出問い合わせ傾向を発表した。運営会社はRESORZは2009年に設立した会社だが、2012年の1月より12月まで月間相談件数が249%の成長率で増加するほど、日本企業の海外進出に対する要望は高まっている。

「サービス」は中国、「小売製造」はベトナム、韓国

海外進出白書2012

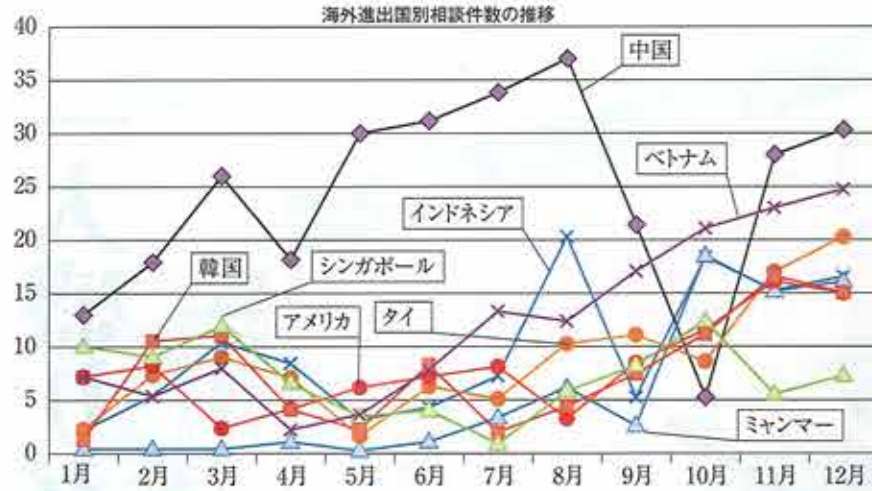
この流れが続くとみる。海外進出の問い合わせ内容は、現地での会社設立や登記代行、商標登録から会計士、弁護士との紹介など多岐にわたる。丁寧な一次ヒアリングを行っているため、「現地に詳しいコンサルタント」が5000名以上を超える大企業からの問い合わせも2012年後半は多かったという。RESORZが運営する「Digima」は、国内500社の海外進出支援企業と提携し、海外30カ国に、あらゆる業種の企業が進出できるプラットフォームを構築している。

「実は、日本が嫌いで世界中を旅していた」と語るのは、同社社長の児嶋裕貴氏。スタン、カンボジアなど世界20カ国を旅してわかったことは、日本人のすばらしさだといえる。現代はまさに明治維新にも似た大変革期である。そこで、坂本龍馬など志士が幕末に活躍した場所であり、日本とヨーロッパを結ぶ経済・文化・学術の交流が行われ、日本の近代文化に大きな役割を果たした長崎の出島にちなんだ。

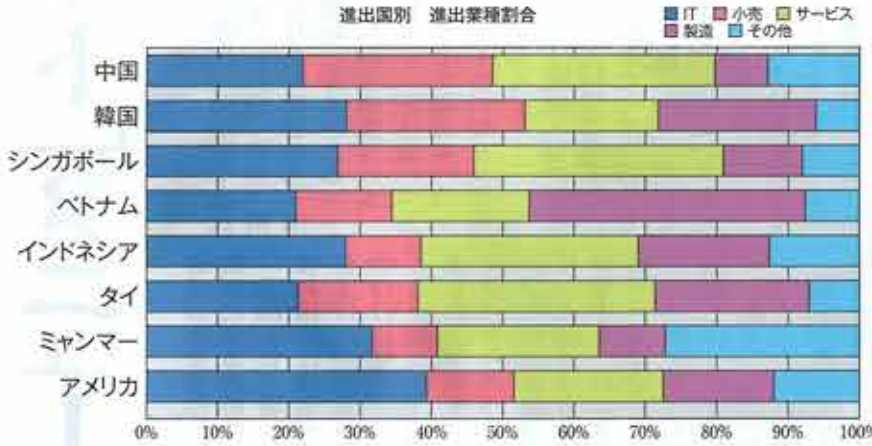
「和をもって貴し」という、皆の意見を吸い上げて和をつくる日本文化を大切にしたいと考えた。このすばらしい日本において、今後30年で人口は1億人になり、消費者も現在から30%減少すると予想されている。そこで国内需要が伸び悩む中、大手企業だけでなく、中小企業も海外に進出していくべき時代として、「グローバル市場で成功する日本企業を1万社つくる」という事業ミッションをRESORZはかかげている。「日本のサッカーも昔は弱かったのです。海外進出するまでは」と、児嶋社長は、日本の中小企業の海外進出に自信をみせる。日本のサッカー界も、三浦知良選手や中田英寿選手という海外進出パイオニアがいた。日本の若者の中には彼らを見て、自分たち日本人も海外で挑戦できると確信し、海外進出する者が出てきた。海外のサッカーを肌で感じることで、日本のサッカーの欠点もはっきりわかってくる。

欧米の選手より小柄な日本選手だが、ヨーロッパの中でも身体能力ではなくテクニクで勝負をし、近年急速に国際舞台で強くなったスペインサッカーなどを手本にする選手も現れた。海外どころかアジア地区でもまったく評価されていなかった日本サッカー界も、現在では、イタリアの名門インテルのデイルフェンダ、長友祐都選手、ロシア・プレミアリーグの本田圭佑選手、英プレミアリーグの吉田麻也選手はじめ約100人が海外で活躍している。野球界でもイチローの米国における活躍をみて、日本の野球が世界で認められていると感じることができている。そして、世界に認められる日本を目指すためにも、日本人の原点にも、日本人の原点を回復する解決策として、V字回復する解決策と、児嶋社長は思い至った。

そのため、海外進出を目指す企業だけでなく、海外進出したい個人をサポートするプラットフォームも作りたいとする。特に日本のクリエーターは金銭に余裕がなく、海外進出が難しい。すでに海外にいる日本人を組織化し、和僑ネットワークとして、海外に出たい若手クリエーターをサポートする構想を進めている最中だ。(藤見爾)



まず、昨年の尖閣諸島問題における反日デモの影響により、中国進出の問い合わせ割合が少なくなってきた。増加傾向にあるのはベトナム、タイ、韓国などだ。また、不動産や投資先としてミャンマーの問い合わせが増えている。中国はサービスの問い合わせが多く、ベトナムは製造業、韓国は小売業、アメリカはIT業の問い合わせが目立つ。ネクストチャイナと取り沙汰されているインドの問い合わせは、今のところそこまで多くない。こうした傾向は2012年10月以降際立っており、2013年も



業種	1位	2位	3位	4位	5位
IT	中国(65件)	アメリカ(20件)	インドネシア(10件)	ベトナム(10件)	シンガポール(20件)
小売	中国(70件)	韓国(20件)	ベトナム(10件)	台湾(10件)	ベトナム(10件)
サービス	中国(92件)	タイ(40件)	シンガポール(30件)	ベトナム(10件)	ベトナム(10件)
製造	ベトナム(60件)	タイ(30件)	インドネシア(10件)	韓国(10件)	中国(10件)
投資(不動産)	中国(20件)	ミャンマー(10件)	インドネシア(10件)	ベトナム(10件)	アメリカ(10件)

例え、海外で外国人と登山をした時のこと。外国人は山をどう効率的に登るかを優先する。日本人は登山の最中、高原の小さな花を見入ることを楽しむ。外国人と登山をしても面白くない自分に気づく。海外から日本に帰ってきて、満開の桜を前に多くの日本人が、散り際に美しいと目がな一日見入っている姿をみて、思わず涙したという。その時日本文化の素晴らしさを再認識した。海外で大人気の日本アニメの中にも、独自の日本文化があるという。勧善懲悪があたり

グローバルBizジャーナル「WEB版」公開中!
<http://globalbiz-j.com/>
 金曜更新

必要なニュースを、必要な時に。
 グローバルBizジャーナルWEB版は、毎週「食」に関するニュースを配信月2回の新聞発行とセットでご活用ください。

- 過去記事をカテゴリ別にまとめて読める!
- 紙面に載せきれない最新情報・データを掲載!
- 各社の成功事例・ノウハウが満載!
- 国内・海外の食・地域ブランドに関連する情報をWEBで!

Facebookページはこちら▶ <http://www.facebook.com/globalbiz>